

やしま

広報 矢島

1月

平成13年第537号

編成・発行/矢島町企画商工観光課 毎月1日発行
秋田県由利郡矢島町矢島町20 TEL 0184-55-4952
印刷/高清館印刷所
Eメール yashima@town.yashima.akita.jp
ホームページ <http://www.town.yashima.akita.jp>



ちよっぴり緊張 洋食マナー

今月の主な内容

- | | | | |
|-------|----------|---------|---------|
| P 2・3 | 新年のごあいさつ | P 4～7 | 新春座談会 |
| P 8 | 矢島町助役を選任 | P 10・11 | まちの話題 |
| P 16 | ほけんだより | P 18・19 | お知らせ・募集 |

新年



新年のごあいさつ

矢島町長

佐藤清圓

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には御健勝で新たな二十一世紀の輝かしい新年をお迎えになり衷心よりお慶び申し上げます。また、昨年は改選により、再び町長として皆様の負託を受け、一層の重責を感じ身のひきしまる思いでいっぱいであります。

外に目を向けますと新しい世紀に向けてそれぞれの期待と不安を抱きながらも世界は人口・食糧・環境・地域間紛争等の重要な課題をかかえております。どの様な解決の道を見出すのか。願わくばこれらの問題が解決され、夢と希望のもてる二十一世紀であることを念願してやみません。

国内は、政権の交代、内閣改造等中央政権も混乱を極めた年であり地方自治体としては政権の安定と一日も早い景気の回復を念願致して居る次第であります。

本町に於ては四月より施行された地方分権一括法に基づき、それぞれ矢島町の独自性と自己責任の下で町行政に取組んでおります。厳しい財政ですが町民皆様の要望実現のため積極的に

努力致してまいります。

心配された介護保険制度の施行も四月より実施されましたが町民皆様の御理解と社会福祉協議会の運営努力により順調に推移致しております。

特別養護老人ホーム「ふるさと矢島」統合保育所「矢島保育園」矢島町総合案内センター（駅舎も含む）も無事完成し、今後は各施設の充実を図り町民皆様に喜んで利用いただける様創意工夫に努めてまいります。

生活環境整備事業として水道拡張整備事業も完成し、簡水も合併し本町の将来に向けて「水」の供給は万全の態勢に整備されました。河川取水と異なり鳥海山の伏流水の恩恵は「矢島の水」として誇りをもって大切にしてまいります。公共下水道事業も一部供用開始致しておりますが平成十四年には完了の予定となります。

消防団再編については、町民皆様のご理解とご協力のもと大綱も決定し、今年四月から六個分団十二部制で活動してまいります。

在宅福祉事業も介護保険施行により順調に運営されており特別養護老人ホーム「ふるさと矢島」五〇床・グループホーム九床共満床で活用いただいております。運営主体社会福祉法人中央会とも更に連携を密にして町

民福祉の充実に努めてまいります。

道路整備事業については念願の坂の下橋が三月に完工致します。引続き接続路線の改良工事を予定しております。前杉工区については本年度本格的調査に入りますが、トンネル化に向けて議会と共に国、県に更に強力な要請を続けてまいります。

農業関係については昨年は早期収穫となりカメムシ被害は拡域一斉防除と農家の努力で一等米比率八〇・一％（前年二一・三％）出荷数量九五、七五二袋で前年を若干上回っております。

本年度の転作面積は297haとなっており今後関係団体と協議をし円滑な推進を図ってまいります。中山間地直接払制度は69haを協定締結しておりますが今後更に支払制度の拡大を図ってまいります。基盤整備事業については川辺・新莊・針ヶ岡地区が概ね完了し本年度木在・矢島地区を着工致します。畜産センター隣接に建設中の牛乳加工施設も四月操業に向けて準備中ですが、今後学校牛乳を始め広くジャージー牛乳のPRに努め

ジャージー酪農の振興に努めてまいります。現在保存修復中の家中の歴史交流館（八森苑）は、高松の歴史で有名な佐藤志摩の助道益の子孫の居宅です。栗林公園は佐藤家の庭園を生駒藩主

の命により拡張されて完成されており、矢島に入部されての居住跡地は伝統建築の面からも貴重なものです。庭園も含めて修復完成後は角館町の武家屋敷と並ぶ町民共有の遺産として誇れるものと確信致しております。

友好都市佐久市とは来年度職員相互派遣交流を始め、高松市の児童を受入れる等一層の友好親善に努めてまいります。

駅前整備計画等については広く町民の参加をいただき検討し将来に向けて計画を樹ててまいります。

IT（情報通信技術）の先進的事業として取組んでまいります。本町の情報ネットワーク事業も、四月スタート以来全国的に注目され、より多くの町民と双方向情報提供が容易に実施出来る様研究努力してまいります。

今年も議会を始め、町民皆様の御理解をいただき全職員と共に奉仕に努めてまいりますので何卒今年もよろしく御支援御指導賜ります様御願ひ申し上げます。

○町民の皆様には年賀状の欠礼もあろうかと思いますが、公職選挙法により年賀状等によるあいさつは禁止されておりますのでご了承下さい。

賀 謹



新世紀に寄せて

矢島町議会議長

正木 正

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には新世紀の新春を輝かしく御健勝でお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の千年紀は内外において激動の連続で、北海道の有珠山噴火に始まり、伊豆諸島、三宅島大噴火、島根県地震等日本列島が揺れ続け、その被害も長期化し越年致しました。

現職総理（小渕氏）の死、若年者による殺傷凶悪犯の異常事件多発等今までに経験する事になかった目を覆いたくなる社会道徳の欠如は、社会経済構造の不安定さとの符合を連想させるかの様に先行き心配な状況にあります。

扱、本町の基幹をなす農業では、昨年の心配されたカメムシ被害も官民の努力の成果が表われ品質向上につながった事は喜ばしい限りであります。本町の水田基盤整備も着々とその順調な事業進捗を見ており、低コスト稲作への農家の取り組みの理解に感謝致すものであります。

しかし反面、本年度は新たに緊急拡大分として28haを含む、297haの減反が配分となりまし

た。

過去二ケ年の減反据え置きとの約束事項も反ほ故ごに、米価の下落に歯止めがかからないばかりか、一定の数値より豊作が見込める場合は青刈を実施するという「減反予約田」までも出現しました。

この様に過去を顧みても、協力し尽してもこの施策で農家が「農業」で生き残れる保証はどこにも見当たりません。こうした状況を考えるとき、今後は本気で町で支える事の出来る他力本願としない「独自」の農業の確立を議論の中から生み出す正念場であり、憂慮に堪えない事態であります。

国全体の構造的な景気回復の兆しが見込めない状況にあり、本年の高校卒の就職内定率68.5%と昨年の最悪と比して上向いているとはいえ、依然その背景の厳しさは変わっていません。

加えて先般の国勢調査での本町人口が減少率ワースト3という不名誉な結果となりました。郡都の本荘市が増加したのは県立大学の開学にあるとされ、本町としても応分の負担をしている事からしても、その波及効果をこい希うものであります。

人口対策については環境、職場の確保、地域性の背景等輻輳しておりありますが、他にない特色のある施策の構築の時期を逸し

てはならないと肝に銘じているところではあります。

暗い面だけを強調しましたが昨年はシドニーオリンピックでの日本陣の活躍が今だに心地よい余韻となっておりあります。

本町の町づくりを柱としてみれば社会資本の充実を柱とした政策の中で、駅舎の完成、新車両の運行と併せて「駅前開発の拠点整備とする用地取得」「歴史を醸かもす八森苑の整備拡充」「良質米生産コスト低減を目指すほ場整備の推進」「ミルクプラントの完成」「坂之下橋の完成」「公共下水道の計画以上の進捗度」「島海山観光道路開通」等、施設・生産基盤・生活福祉環境整備等多面に亘り着実に町民の願いに接近しております。

先般、国の13年度予算の大蔵原案が内示されましたが、国債の新規発行を減額したとはいえ借金頼みの体質は改善されておらず、政府は財政再建への新たな取り組みが余儀ない現状にあります。一般会計は3年連続の80兆円台の高水準にあり、国税収入を大きく上回り、財源確保のための予算の3割以上を借金で賄う異常事態といわれております。

こうした背景にあるため、昨年4月に施行された地方分権整備法によって、国から地方への権限委譲は行われて来ているも

の、税財源の委譲に関して、国が強い抵抗を示しているところではあります。地方の財源不足は国庫補助金や地方交付税などで補てんされ、このシステムが「対等な関係」を阻害しているといわれております。

地方自治体を支える地方交付税さえも、原資不足により繰り入れや交付税特別会計の借金で賄っている実情からしても、仕組みそのものが行き詰まっているとされ、財政力の弱い地方こそ国の財源を頼りとする公共事業による社会基盤整備が不可欠であります。

財政難は今後の市町村運営に深刻な影響を与えるだろうし、これからは、交付税の伸び悩み減額を考慮に入れるべきでしょう。交付税が減ると従来と比較にならない程行政コストの引き下げとなり、住民サービスの低下が一番懸念されます。

いずれにしても大事なものは、地域の将来にとつて何がベターか十分議論し、住民とのコンセンサスを図ることです。

従って議会としても今後とも町民の福祉向上に最善の努力を傾注致す所存であります。

町民各位の限りない幸福と21世紀の幕明けに相応しい、御隆盛を祈念し、年頭のあいさつとさせていただきます。

新 春 座 談

～矢島町 IT 化の今日と明日～

あけましておめでとうござい
ます。

「IT (情報技術)」と聞いた
だけで、何それ。わっ難しい。い
やだ。苦手。などの反応が返っ
てきそうですが、好むと好まな
いとかかわらず私たちの周辺
にもIT化の波が確実に押し寄
せてきています。

さらに、国では「電子政府の
実現」を目指し最重要課題のひ
とつとして取り組んでおり、法

律や制度の整備を進めておりま
す。

矢島町としても昨年度からテ
レビ電話やパソコンを使った
ネットワークを整備し、情報
サービスを開始したところです。
このIT化の中で、私たちの
生活はどう変化していくのか、
今後を予想すべく、町民六名の
方々に座談形式でお話してい
た



司会 泉谷

あけましておめでとうござい
ます。

昨今、テレビ新聞紙上で毎日
IT (情報技術) という言葉が
飛び交っておりますが、情報化
の波は思ったより速く私たちの
身の回りに押し寄せています。
矢島町でも地域の情報化とい
うことで、情報ネットワークを構
築し運用しております。新世紀
を迎え、皆さんの生活がどのよ
うに変化し、或いは、対応して
いけばよいのか、みなさんのお
知恵を拝借し、明日の矢島町を
考えてみたいと思いいこの座談会
を組みました。

まず、町の現在の情報化につ
いてご紹介します。町ではテレ
ビ電話を住民の方々にお貸し議
会中継、公共施設の予約状況、保
健福祉などの情報を配信してい
ます。双方向の情報提供とい
うことでテレビ電話を使いなが
らいろいろな形のサービスを充実
したいと考えているところで
す。また、パソコンのシニア、レ
ディース講座を開いて地域の情
報化を図っているところです。
それでは皆さんから自己紹介
を兼ねながらパソコンなどの情
報化の取り組みについてお話し
します。

まず木村さんからお願いします。
木村 七日町の木村博道です。

全くの素人で、パソコンは去年の
小中学校のパソコン講座からはじ
めました。取り組もうという気持
ちはあったのですが、面倒くさ
い、今更ながらと思いい取り掛かる
のに時間がかかりました。

趣味で写真をやっております。デ
ジカメ、8ミリビデオで撮影し
たものをスキャナーで取り込ん
だりするということが非常に面
白いと思います。特に写真をパ
ソコンに取り込み、修正しなが
ら作るというところに重点をお
いてはじめてました。

司会 ありがとうございます。

次に秋山さんお願いします。

秋山 砂子沢の秋山正毅です。
私はもともと理科工作みたいな
ものが好きで、パソコンをはじ
めたのが大学へ行ってからです
から20年位になります。パソコ
ンの講座を毎年2回やっています
が、受講者は、ただ興味があっ
て来るのではなく、皆さん目的
意識を持って参加しているよう
です。ですから、教える方とし
ても充実感を覚えています。

司会 ありがとうございます。

佐々木さんお願いします。

佐々木 荒沢の佐々木百合子で
す。私は仕事の関係でパソコン
に触れるようになりました。T
DKに入社したとき、コン
ピュータを覚えてみないかとい
われたのがきっかけです。仕事



・佐々木百合子さん

荒沢住、パソコン歴17年。TDKACC勤務。仕事の関係で入社当初からパソコンを操作するようになる。矢島町のみならず世界の産業文化に貢献したいという積極派。



・木村博道さん

七日町住、パソコン歴2年目。カメラ撮影が趣味で、パソコンへの写真取り込みに興味を持ち、取り組み始める。昨年、町主催のシニアパソコン教室に参加。

でなければ非常に抵抗感があり、触ってもいかなかったでしょう。今は会社の仕事でありがたかったと思います。当時、年に何回かの象潟の技能研修所で研修があり、私には非常にハイレベルの期間でした。そこで缶詰状態の講習を受け、それなりの初級程度のパソコンの知識を得ました。

飛びつきました。でも、ワープロではどうしても自分でやりたいことができなくて、10年位前マニアのなかでパソコンが普及し始めたとき、80万円くらいでパソコンを買いました。周囲にも少しやる人がいたので勉強しながらやってきました。

私はいや、情報弱者という言葉がありますが、やってみればだんだん差が開いてきます。興味を持って好きになっていくとどんどん進みますが、キーボードを打つことは結構苦労がたほうになりやすい。鉛筆で書いたほうが楽ですよ。そこで差が開きだすのは確かです、やればやるほど差が出ます。

秋山 いや、情報弱者という言葉がありますが、やってみればだんだん差が開いてきます。興味を持って好きになっていくとどんどん進みますが、キーボードを打つことは結構苦労がたほうになりやすい。鉛筆で書いたほうが楽ですよ。そこで差が開きだすのは確かです、やればやるほど差が出ます。

木村 どうなっていくかというよりも、急激に変わっていくことに戸惑っています。多くの方々が生活の中に入り込んでくる

上、興味と関心を持ちながら自分の生活を有効かつ有利にしていくこと、豊かにしていくことを考えています。それと地域として、パソコンに対応する人かどうか、増やしていくのか、或いはそういうものを町全体に普及していくためにはどんな方法があるのか、町としてはどういう取組をしていくのか、地域的には過疎だがITについては日本では先進地だと言われるような町になればと思います。

秋山 学校でも子供たちの使い方を見ていけるといいですね。やるので、最後みんなが出て行った後設定が全部変わってしまいます。次にやる時困るんですよ。同じようにしておかなければいけないので。

木村 小中学校の子供へ自由にソフトを貸し出すなんてことはできないですか。

秋山 休み時間はやるけれど、ソフトを貸し出せばそのものが違法なのでできません。

木村 図書館から本を借りるように家へ借りて持っていければいいですね。そうするとともに子供たちも伸びるのではないのでしょうか。



・佐藤啓子さん

新所住、パソコン歴1年目。「これからの時代、パソコンは一軒に一台」の言葉に奮起。自営の酒類販売業に生かすべく、パソコン操作に奮闘中。昨年、町主催のレディースパソコン教室に参加。



・秋山正毅さん

砂子沢住、パソコン歴20年。矢島小学校で教鞭をとる傍ら、パソコン講座の講師としても活躍。必要なものはオン・ライン・ショッピングで購入するなど情報化の先端に行く。

環境をどうしたら作れるか。経費がかかる問題で、それに対する支援策や制度等あってもいいのではないかと思います。
司会 佐々木さんの場合は会社でやっているということですが家ではどうですか。
佐々木 会社で一人一台ずつとやっているのだから家でやりたくありません。会社のことを話しますと、環境ISOの関係でコピー機からでるゴミを4つに分別しなければなりません。それを専門の業者に委託して処理しなければならず、いいものが発達すればするほどそれに付随したゴミのリサイクル化をどうしようかと、それに対する委託費が益々膨大になってきている状況です。

であれば印刷して確実に字で確認できます。それが記録として残り顧客の確保にもつながります。それに電話だと必ずその時受話器をあげなければいけないんですが、メールであれば自分のペースで処理できるという利点があります。ホームページに酒蔵や鳥海山の映像を載せることで視覚に訴える効果も大きいと思います。
司会 そうですね、インターネットを媒体としたビジネスがどんどん進んでいきますね。他にはありませんか。
秋山 最近パソコンを通して買い物をしています。物を買うとき絶対パソコンの方が楽です。なぜかというところ自分の好きな時間に発注できるからです。買い物に行くのは楽しみのために行くのであって、それ以外のものは店に入っとうろろう探したりするのはめんどろです。
金子 確かに夜遅くとかの注文をいれているお客さんも増えています。

で友だちとやり取りしていて中古のものを手に入れたといっていました。大変便利な機器です。一頃は学生ホールに就職求人情報など様々な情報が掲示されていたようですが、今は殆どの情報がインターネットの掲示板にあるようです。
秋山 今の大学情報は全てホームページの中にあり、見たい人は見なさいというようになってきています。
佐々木 世の中相当便利になってきているところを見ると、住民票なんかもインターネット上から請求できるようなになればいいですね。
滝野 住民基本情報ネットワークというのが14年の8月からやれるようになるそうです。その際検討されているのがIDカードというもので次世代カードとすることで、公共施設の予約とか、保険証の代わりだとかいろいろ機能をもつカードにかわって行くようです。そうなるのと銀行の自動支払機のように本荘市や由利町など他町でも住民票をもらえるようになります。
佐々木 お年寄りでも銀行の自動支払機なんかは普通に利用していますね。そういう方式になれば抵抗感なく世代を超えてのサービスになると思います。

操作で可能なシステムになればいいですね。それにしてもこれからのことを考えると、高齢者を対象にした講習は、個別の内容やカリキュラムを作っていく必要があるそうですね。
滝野 国でIT講習ということでは補正予算を組みました。平成12・13年に実施することになっていますが、人口の7%を対象にしたもので矢島町では230名から270名くらいの人が対象です。ただ一人一度しか受講できない内容なので、進め方に苦慮しております。実際のところどれくらいの希望者がいるのかも不安です。
佐々木 ところで学校の方では特定の先生が子供たちに教えるようになっていくのですか。
秋山 講習はみんな受けませんが、とにかく自分で使えないと教えることはできません。それにさまざまなものがあるため使いこなすのは難しいです。慣れることが一番なので、今年は町の予算でノートパソコンを20台買って先生方も普段使えるように環境を整えました。なかなかないですよこういうところは。講習に来ては普段家になんかやりたくてもやれない。ですから自由に行きたいときに行ってもやれる場所はやっぱりほし



・滝野由紀夫さん

城新住、パソコン歴10年。矢島町役場勤務。パソコン第2世代の頃から興味をおぼえ、操作を手がける。町の地域情報ネットワーク事業の中心的役割を担う。



・金子弘美さん

新丁住、パソコン歴5年。天寿酒造勤務。職務上、パソコンによる事務処理が必然となり、操作に取り組む。「自分でホームページを作成できれば」を目指し、日夜奮闘中。

いのかなと思います。インフォメーションセンターの2階あたりがいいんじゃないですか。
木村 その次に来るのは、家にあつても操作がわからないという事態です。そのときどこへ行つて聞けばいいのか。電話で聞く方法もあるが電話で聞いても解らない。専門用語も言葉の意味もわからない。どこが解らないのか説明できない。そんなところに対応してくれる人材を確保しなければならぬでしょう。
サポート するようなシステムができれば非常にいいんですけど。

司会 人材を育成してパソコンお助けマンみたいなものをつくって行きたいというのが次の目標です。それとパソコンを買うにしても何を買えばいいのか解らない。量販店に行つて買えば買いたいものでないものを紹介されることもあります。買いたいときはパソコンを使う目的を話して買うのがベターです。ですからこれから人の繋がりネットワークもパソコン講習で養成して、その中から自分が覚えたものは人に伝授するような形を作り上げていかなければと考えています。
秋山 もっとクラスを細かくして教える必要があるのではないのでしょうか。今の初級でも結構幅があり、本当に初級ならもつとゆつくりやってもいいんじゃないかと思えます。マンツーマンであればいいんですが。
司会 人数を増やすことは簡単なんです。そうなる目配りができなくなりますが。どうしても誰かがつまづくと時間内の講習なので遅れてしまいます。そんなことから10人くらいの受講者に先生一人とスタッフ2、3人で講習会を実施してきました。

佐藤 講習を受けている時、側にはすぐく安心な人があるというのほすごく安心なことですし、レディースパソコン講習も安心でした。
秋山 リピーターのある講習でない、例えば初級を受けた後いやだから止めてしまうようだと意味がありません。次のステップへつなぐようにすることが大事ですね。
司会 大きな市クラスになるとパソコン講習会はやつていきますが、結局先に行く人だけが行ければいいということのようです。矢島町はそうでなく、広く住民の方々が一人でも多く参加していただき自分の生活の中に役立てていただければうれしいなと思えます。
最後に行政に期待するものがあります。これからステップアップしていくとすればまたお力添えをお願いします。
金子 今とても興味を持ってのことなのでもっと勉強して詳しくなりたいです。自分で解らないところを気軽に聞けるところがあればいいと思います。行政側でサポートしてくれるようなシステムがほしいです。
佐々木 矢島町の文化産業に貢献できるような一住民でありたいと思います。
また、そんな機会がもつとあつてもいいのではないのでしょうか。
秋山 テレビ電話は昔の有線放送のように、こまめな情報を提供できるようなイメージで使っていたら、もつと親しみやすくなるんじゃないかと思えます。
木村 携帯電話、パソコンを導入することで相当の経費がかかるようになって来ています。その面を補助できる制度があればよいと思えます。
司会 これから新年度予算要望が始まります。その中で皆さんのご意見を反映できるものを考えていきたいと思えます。IT化事業は今後も力強く推進していきたいと思えますので皆さんのご理解ご協力をお願いします。



・司会 泉谷健一

矢島町企画商工観光課長補佐、パソコン歴6年。町の地域情報ネットワーク事業の計画、実施にあたる。シニア、レディースパソコン教室開催などソフト事業の企画者。



矢島町助役に 佐藤徳弥氏（新町）

吉川前助役の退任により10月
から空席となっていた助役に1



月1日より佐藤徳弥氏が就任
しました。

佐藤新助役は、昭和25年生ま
れ。県立農業大学園を卒業後、昭
和46年矢島町役場に入り町民課
税務係に配属。平成5年企画情
報課長、平成6年農林課長、平
成8年に総務課長を歴任。

なお、自治大学教授吉川浩
民氏は1月6日付で総務省大臣
官房総務課課長補佐（法令審査
担当官）に異動となります。

議会定例会

12月20日から22日まで12月定
例会が開会され、条例の改正、一
般会計補正予算、助役の選任な
ど12件の議案が審議・議決され
ました。

☆人事

矢島町助役選任につき同意をも
とめる件

・矢島町助役に佐藤徳弥氏（新
町）を選任し同意

☆条例改正

矢島町インフォメーションセン
ター設置条例の一部を改正する
条例

※利用料金

コミュニティルーム

一日 二千元

半日 千円

小番与一氏（七日町） 監査功労で表彰



このほど矢島町監査委員小番
与一氏が、約12年間にわたり地
方自治の発展に貢献した功績に
より全国町村監査委員協議会よ
り表彰されました。

おめでとうございます。今後
とも町発展のためご活躍下さい
ますようお願い申し上げます。

矢島中ボランティア活動 国際ソロプチミストより表彰

矢島中学校ではJRC活動、
ボランティア活動の一環として
さまざまな活動を行っておりま
す。

「ひと」「みどり」「くらし」に関
わるすべてに奉仕することをボ
ランティアと位置づけ、全校生
徒の手によって行っています。
本年度は花きの栽培を通して



地域の交流を図ることに一番力
を入れました。矢島町では、町
全体が博物館である「エコ
ミュージアム構想」を目指して
おりますが、生徒たちも「花が
あり、きれいな安らぎのある街
にしたい、地域の人々の心を和
ませたい」という気持ちで四五
〇本以上の草花を栽培し、プラ
ンターに植え替えて地域の人々
に贈りました。

このような活動が認められ、
国際ソロプチミスト本荘から授
賞されました。

おめでとうございます。平成
13年はボランティア国際年で
す。ますますのご活躍をご期待
申し上げます。

※国際ソロプチミスト

管理職や専門職という立場の
職業分類化された女性の奉仕団
体。国際理解と友愛の精神を通
して、全世界の人々の人権擁護
平等、平和を目指し活動してい
る。

みんなの善意

◎社会福祉法人矢島町社会福祉
協議会

次の皆様から社会福祉事業の
ため役立てて下さいとして寄付
金を寄託されました。厚くお礼
申し上げます。

○荒沢、近藤正満様（御祖母
ツル氏香典返し）

○大川原、土田公司様（御母
堂）ヨリツ氏香典返し

○七日町、太田芳弘様（社会
福祉事業寄付金として）

○栄町、木村一義様（御尊父
作蔵氏香典返し）

○水上、椎川丈司様（御母堂
ミヨ氏香典返し）

○ヤマザキシヨップ佐藤喜八様
（社会福祉事業寄付金）

○荒沢、佐藤貞雄様
（社会福祉事業寄付金）

○坂之下、茂木精様（御尊父
清治郎氏香典返し）

○郷内、豊島晴紀様（御母堂
トミセ氏香典返し）

最優秀チームに TDK-ACC

このほど矢島町野球協会納会の席上で一年間を通して活躍した、野球チーム・選手の表彰が行われました。



受賞されたチーム・選手の皆さんおめでとうございます。

◎チームの部

最優秀チーム賞 TDK-ACC (A)
優秀チーム賞 山科ノーランズ ヤンキーズ
特別賞 ダンディーズ

◎個人の部

最優秀選手賞 土田博行 (TDK-ACC (A))
優秀選手賞 鈴木光一 (TDK-ACC (A))
優秀選手賞 播磨信行 (ヤンキーズ)
敢闘賞 佐藤昌司 (矢島町役場)
敢闘賞 鈴木一行 (ルーキーズ)

◎ベストナイン 1部

投手の部 土田博行 TDK, ACC, A
捕手の部 佐藤 敦 TDK, ACC, A
内野手の部 土田智之 矢島町役場
" 佐藤康人 山科ノーランズ
" 高橋信司 TDK, ACC, A
" 伊藤 淳 矢島消防署
外野手の部 佐藤瑞秋 山科ノーランズ
" 佐藤夏樹 矢島町役場
" 猪股英之 TDK, ACC, A

2部

那須尋人 ヤンキーズ
佐藤達也 ヤンキーズ
高橋貴彦 ルーキーズ
柴田 稔 技能組合
播磨信行 ヤンキーズ
黒木 誠 ヤンキーズ
堀田 亮 ルーキーズ
佐藤亮一 ダンディーズ
土田重夫 ダンディーズ

スキー場行きバス 無料運行

12月8日にスキー場の安全祈願が行われオープンとなりましたが、雪不足のため営業を見合わせておりました。12月25日来の降雪により滑走可能になり営業を開始しております。

なお、下記のとおり矢島駅へ矢島スキー場間の無料バスを運行しますので、ぜひ、ご利用ください。

無料バス運行日程

1月の運行日

4日～14日と20日・27日・28日

		午前	午後
鉄道	矢島着	8:49	14:17
バス	矢島駅発	9:00	14:30
	スキー場着	9:20	14:50
	スキー場発	9:30	15:00
	矢島駅着	9:50	15:20
鉄道	矢島駅発	9:56	15:38



町の施設を見学

矢島町婦人団体連絡協議会(会長・相庭幸子さん)は、11月30日、地元の行政施設を見学しました。

協議会では、行政の動きを施設見学により知るため毎年実施しており、この日は25名が参加。矢島浄化センター、スターやしまバイオセンター、ミルクプラントを視察しました。

浄化センターでは、汚水を処理する微生物が塩素を嫌うことを知り、塩素系の洗剤をできるだけ使用しないことを心がけたいと話されました。

バイオセンターでは、良質の堆肥が製造されている工程を見ながら、有機米、有機野菜づくりに利用したいなどとささやき合っていました。

現在建設中のミルクプラント

金子あやさん(下山寺) 全県第三位



12月10日、秋田県立体育館において第三回秋田県小学校学年別剣道大会が開催され、矢小6年の金子あやさんがみごと第三位に入賞しました。
この学年では全県から80名の出場(矢島小学校5名)があり、熱戦を展開しました。
おめでとうございます。

では、地元で生産されたジャージー牛乳が地元でビン詰めされ、バター、ヨーグルトなどの加工品も製造されるとの説明に、販売を待ち望む声があがっていました。



サンタフェスティバル



12月15日、新装になった矢島駅でサンタフェスティバルが行われました。たまぐら塾（塾長茂木好文さん）が主催。矢島高校のボランティア9名の協力を得て、会場を訪れた250人余りの子供たちにつきたての餅やプレゼントを振舞っておりました。

Do you speak English?

矢島小学校では、ワールドゲームズ2001秋田の“Say Hello”小学生プログラムを受け、英会話教室を実施。5、6年生を対象に延べ24回開催され、未来の国際人を目指しています。ALTのディナさんを講師に迎え、ワールドゲームズの競技種目など楽しく学習しておりました。



12月15日、歴史交流館として増築・改修中の八森苑が公開されました。この日、八森苑を訪れた見学者は40名余り。建物の監修にあられた東北工業大学の舛田教授の「八森苑は100年以上の歴史を刻んでおり、現在建築中のものはまた100年の歴史を積み重ねることでしょう。明治、大正、平成の和風建築が1箇所にとろろことで歴史に対する理解を深めていただきたい。」との説明に熱心に耳を傾けておりました。

八森苑改修現場を公開



絵画を寄贈

このほど、矢島保育園に絵画が寄贈されました。矢島ロータリークラブ（会長佐藤久美さん）のご好意によるもので油絵風景画100号。矢島町新町出身の佐藤誠さん（仁賀保町）が鳥海山矢島口のブナ帯新緑を描いたものです。矢島保育園のホールに飾られておりますので、訪れた際にぜひご鑑賞ください。



鳥海観光道路開通

12月12日、鳥海観光道路の開通式が挙行されました。この道路は昨年度に第1期工事が完成しこの度、第2期工事（柴倉～野際800m間）が完成したものです。今後は、第3期として野際～花立間が計画されており、平成15年度の全線供用開始を目指します。



～まちの話題～

マナーって難しい？



矢島小学校では、4年生から6年生を対象に洋食のマナー給食を実施しております。今回で5回目を迎えておりますが、子供たちにはなかなかの好評。普段の給食と全く違う雰囲気になんて戸惑いながら、ナイフとフォークで悪戦苦闘。慣れたころには話もはずみ、約1時間のお食事タイムを楽しんでおりました。

元気で行ってきます

12月19日、カナダに派遣される中学生の壮行会が行われました。今回の派遣者は例年同様中学2年生12名。各々自分の英語力研さんなどの研修目標を掲げ、不安を伴いながらも積極的に自己PRをしてきたいと抱負を述べておりました。期間は1月3日から1月15日までで、日本の歌やおどり、習字、剣道などの文化を披露し交流を深める予定です。



初おひろめ



12月16日、矢島保育園でおゆうぎ会が開かれました。統合保育園になってはじめてのおゆうぎ会とあって、会場に訪れたお父さん、お母さんたち約350名。にわかカメラマンが周囲を囲む中、子供たちが先生手縫いの華やかな衣装を身にまといステージに登場すると、会場では感嘆の声があがっておりました。はじめのあいさつに始まり、25の演目に浸った2時間半は、あっというまに過ぎたようでした。



きちんと正座して

12月12日、保育園年長さんがお茶会に招かれました。お茶会の主催は、茶道裏千家の佐藤典先生（新町）。築150年のお座敷に通された園児たちは、神妙な面持ちで正座するときちんとあいさつ。日ごろからお茶の練習をしているとあって、作法動作はなかなかのもの。子供たちの落ち着いた様子には、年長者の風格がただよっておりました。



和楽器

ありませんか

矢島中学校では様々な演奏家に授業の中で演奏してもらおう、音楽鑑賞教室を行っております。本年度は一年生のリコーダー教室、二年生の民謡教室、三年生のヴァイオリン教室などを行ってきました。

この度、この音楽教室を充実させるため、また、秋田の音楽文化継承のため、継続的に民謡の活動や授業を充実させたいと考えております。しかしながら、授業で使う三味線、和太鼓などが不足しており、本校に貸与、寄付して下さる方を探しております。

ご家庭で眠っている楽器がありましたら、ぜひ、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

矢島中学校 金森まで
56-2062



愛称は『ミルジー』

花立に建設している農林水産物処理加工施設の愛称を募集し

ましたところ、約二十名の応募をいただき選考会議を開催して協議した結果、愛称が次のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

愛称『ミルジー』
(矢島中学校生徒会案)

また、10月号広報で、愛称を12月号に掲載すると記載しておりましたが、遅れましたことを深くお詫び申し上げます。町内外からのご応募本当にありがとうございます。今後もジャージー牛の振興にお力添えをお願いします。



シリーズ環境1

21世紀は省エネの時代 省エネは地球にやさしく 家計にもやさしい!

省エネルギーは、地球環境を守り、貴重な資源を永く使い続けていくためにもとても大切です。

毎日の暮らしの中での電気の使い方、省エネが重要です。しかも、家計にもやさしいのです。

タイマーや時計機能が付いている電気機器等は、コンセントにつないでおくだけで電気を消費しています。夜間や外出時は主電源を切りましょう。また、長

時間使わないときは、コンセントも抜くようにしましょう。

家庭の電気使用量は、全体の50%以上を照明・冷蔵庫・エアコン・テレビで占めています。省エネのため以下のことを実行しましょう。

※照明

- ・むだな電気はこまめに切る
- ・ランプやかさなど定期的に掃除する

- ・蛍光灯は両端が黒ずんできたら早めに交換する。

- ・インバーター式蛍光灯器具は明るさなら20%の省エネ同じ電力なら25%明るさがアップします。

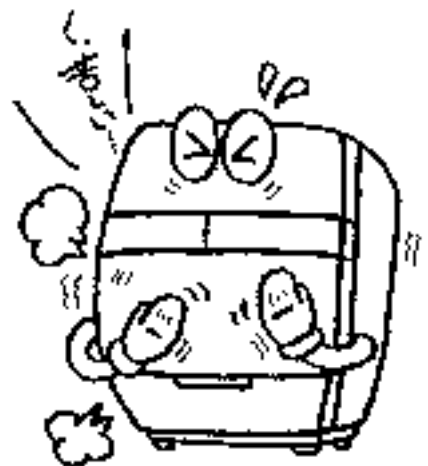
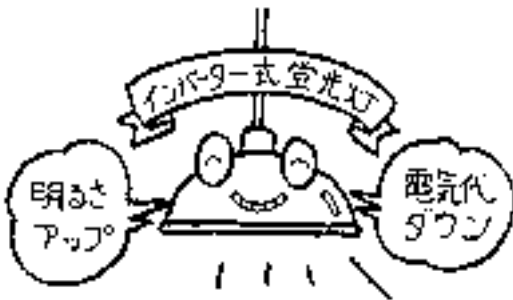
※冷蔵庫

- ・食品の詰め込みすぎは、冷気の循環が悪くなり電気を多く使います。また、熱いものは冷ましてから入れましょう。
- ・食品の出し入れが短時間で済むように、庫内は整理しておきましょう。

- ・設置場所は風通しよく、周囲に適当な間隔を開けて設置しましょう。

※エアコン

- ・設定温度は適温にしましょう。(夏は28℃、冬は20℃) 1℃のちがいで10%の省エネ



になります。

- ・2週間に1度はエアフィルターを掃除しましょう。

- ・消費電力の少ないドライ機能を有効に使いましょう。

※テレビ

- ・見えないテレビはこまめに消しましょう。また、就寝時や外出時は主電源を切りましょう。

- ・必要以上に画面を明るくしたり、音量を大きくするのも電気のムダ使いです。
- ・画面にほこりがあると暗く見えるので、乾いた柔らかい布で拭きましょう。

生活改善を再確認

矢島町婦人団体連絡協議会（会長・相庭幸子氏）では11月30日、生活改善懇談会を開催し、「矢島町生活改善申し合わせ事項」について協議しました。

この申し合わせ事項は、矢島町公民館により20数年前に提唱され、その後回となく呼び掛けていたものです。近年の生活情勢を踏まえて内容を検討し、呼び掛けをしていくこととなりました。

特に結婚式、葬式などでの引出物が話題となり、使われることのない引出物が押し入れに山

定期演奏会のお礼

先に行われました矢島中学校吹奏楽部定期演奏会に200名を超えるたくさんの方々にこ来



積み重なっていることから、引出物をなくし、心のかよ

う交際をすべきとの意見が多く出されました。

また、一層の推進をすうえからも、矢島町、JA秋田しんせい矢島町支所、矢島町商工会の賛同をいただき実施していきたいと思しますので、町民の皆さんのご協力をお願いします。



場いただき、盛会をおさめることができました。これもみなさまの本校吹奏楽部の活動に対する数々のご支援の賜と存じております。

一、二年生だけの演奏会です。二、三年生だけの演奏会です。お聞き苦しい個所も多々あったかと存じますが、部員にとつては自信と充実感を得たよい演奏会となりました。今後も部員一丸となって諸活動に向けて努力して参りますので、本校吹奏楽部をあたたく見守りくださることを心からお願ひ申し上げます。

矢島中学校吹奏楽部

部員一同

矢島町防災の基本 「地域防災計画(修正)」を決定

矢島町地域防災計画については、法律の改正及び国の防災基本計画・秋田県地域防災計画の修正、その他の環境の変化に対応するため、平成12年12月11日矢島町防災会議を開催し決定したものです。

修正前の防災計画（昭和60年修正）は、当時想定される全ての災害を包括して、一般災害として計画してきましたが、阪神・淡路大震災で見られたように、地震災害は突発性、被害の広域性、火災等二次災害の発生といった一般災害とは異なる特徴があることから、「一般災害対策編」と「震災対策編」を区分し、計画の全面的見直しを行ったものです。

主なる修正内容は次のとおりです。

- 一、全体の編成について
- 「一般災害対策編」と「震災対策編」を区別して作成しました。
- 災害対策本部の設置や、動員体制の明確化を図った。
- 二、応援体制の整備について
- 秋田県消防防災ヘリコプター「なまはげ」の活用について計画しました。

●平成8年10月に明治22年町制施行全国友好連絡会（13町）と相互応援体制について掲載しました。

●平成10年11月に矢島郵便局と締結した覚書に基づき、郵便局職員の協力を得て、情報の提供、情報交換等について掲載しました。

三、鳥海山火山活動災害予防計画では、一八〇一年の享和噴火を想定し、土石流、泥流等の被害を想定しました。

●一般災害時に使用する避難場所と別に、火山噴火に伴う泥石流及び土石流の発生に備えた避難場所を選定しました。

四、災害弱者とボランティアについて

●ボランティアの受け入れ窓口の設置、ボランティアの活動内容について計画しました。



●災害弱者に対する災害情報の伝達、避難誘導等において身体的及び社会的特性に配慮した適切な方法で行う旨を計画しました。

五、地震被害想定について

●県が二箇年にわたり実施した「秋田県地震被害想定調査」を踏まえて、本町の災害被害想定を定め、震災対策を講じる上での基本としました。

六、物資の調達等について

●食料、水、生活必需品等の調達・供給体制の整備について、公的備蓄の推進、住民個人の蓄えの普及推進について計画しました。

以上が主な修正内容です。尚、各家庭での災害の備え等については、「家庭用防災の手引き」の冊子を三月頃に全世帯に配布する予定です。

国民健康保険より お知らせ

★平成12年度より保険税を納めない人に対する滞納措置が徹底されることになりました。

●長い間、保険税を納めないでいると…

特別な事情がないのに保険税を滞納した場合、未納期間に応じて次のような措置がとられます。

★保険税の納付期限から1年間は、過ぎた場合…

国保加入世帯の方々に役場より国保税の納税通知書が送付されるわけですが、それぞれの納期内に保険税を納めないでいると督促状が送られます。さらに、それでも納めないで1年間が経過した場合、国民健康保険証を返還しなければならなくなります。保険証を返還した被保険者には保険証の代わりに、資格者証が交付されますが、資格者証は被保険者であることを証明す

るだけで、保険給付は受けられません。ですから、医療費はいったん全額自己負担となります(償還払い)

尚、資格者証発行後でも次のような場合は、再度保険証が交付されます。

- ・滞納保険税を完納したとき
 - ・滞納額が著しく減少した場合
 - ・特別な事情が認められた場合
- このようなことにならないためにも保険税は納期内に納めるようにしましょう。

平成13年1月より、医療費の患者負担が変わります。

現行

区分	対象額
低所得者 (非課税世帯)	35,400円を超えた額
一般	63,600円を超えた額

改定後

区分	対象額
低所得者	現行と同じ
一般	63,600円を超えた額。 医療費が318,000円を超えた場合は、超過分の1%を加算した額。 63,600円+ (医療費-318,000円) ×1%
上位所得者	121,800円を越えた額。 医療費が609,000円を超えた場合は、超過分の1%を加算した額。 121,800円+ (医療費-609,000円) ×1%

※ 上位所得者とは住民税算定の基礎となる総所得金額が670万円程度以上の方の事です。

★平成13年1月より医療保険制度が改正されます。

平成13年1月より、高齢者の自己負担額を現行の定額制から定率制に改められました。又70歳未満の方が高額医療に該当した場合の上限額も改正されました。改正内容は、図のとおりです。

二十歳になったら国民年金に

新成人の学生さん、国民年金に加入していますか。国民年金は国が運営する年金制度です。皆さん方のような現役世代の方が支払った保険料で、高齢者の生活が支えられ、世代間の支え合いで成り立っているのが公的年金です。

国が運営しているので安全確実な制度です。この年金制度は、学生である皆さんが保険料を納付しやすいように工夫されています。

例えば、二十歳以上の学生は、かつては国民年金制度へは任意加入とされていましたが、平成三年度からは必ず加入しなければならぬこととされました。一般的に学生には所得がないことなどから、保険料の支払いを免除する仕組みもありました。しかし、所得がないのに保険料を負担することや学生を特別扱いすることなどの問題を解決するために、平成十二年春の年金制度改正において、大きく改正されました。

学生本人の所得が一定以下の場合、学生時代は年度ごとに『学生納付特例』を申請し、その承認を受けることで、保険料の納

付を要せず、承認を受けた月分の保険料は一〇年以内であれば、保険料を追納して将来、満額の年金が受け取れるようになっていきます。

ただし、保険料を追納しない限り、当該期間は老齢基礎年金の給付額には反映されませんが、年金を受給する際の資格期間には算入されます。また、学生納付特例の承認を受け、保険料の滞納期間をなくしておけば、学生時代の事故に対しても、障害基礎年金などは満額保障されます。

このように、国民年金は、学生の皆さんも保険料を納付しやすいように制度を変えてきた、国民本位の年金制度と言えます。
【国民年金のお問い合わせは、
矢島町役場生活・環境課へ】

囲碁同好会

忘年囲碁大会成績

- | | | |
|----|------|----|
| 優勝 | 小番幸一 | 四段 |
| 二位 | 高橋康弘 | 四段 |
| 三位 | 佐藤光造 | 五段 |
| 四位 | 今野幸男 | 三段 |

老人医療受給者の方

現 行

☆外 来			
○一部負担			
定額制	1回	530円	
○月額上限	2,120円		
	(月5回目からは無料)		
☆入 院			
○一部負担			
定額制	1日	1,200円	
	(低所得者は軽減)		

改正後

☆外 来			
○一部負担			
原則	定率	1割負担	
○月額上限			
・大病院 (200床以上)	月	5,000円	
・中小病院 (200床未満)	月	3,000円	
・診療所	医療費の1割負担 (定率制)		い ず れ か を 選 択
	(月額上限3,000円)		
	1日 800円 (定額制)		
			(月5回目から無料)
☆入 院			
○一部負担			
	医療費の1割負担		
○月額上限			
一 般		37,200円	
住民税非課税世帯		24,600円	
老齢福祉年金受給者		15,000円	

※このほか、老人保健では高額医療費支給制度が創設され1ヶ月に同一の医療期間において3万円以上の一
部負担金を支払った高齢者の方が同一世帯に複数いるときなど合算して37,200円を超える額が払い戻
されます。
(低所得者は21,000円以上的一部負担金を支払った場合に合算して24,600円を超える額が払い戻
されます。)

平成12年度 秋田県共同募金会送納実績表

募金種別	募金額 (円)	説 明
1.毎戸募金	1,049,600	57地区1,754件
2.街頭募金	21,106	婦人会協力
3.法人募金	98,000	17件
4.個人・団体 大口募金	108,000	11件
5.学校募金	71,319	矢島小学校ボラ ンティア委員会 12,422円 矢島中学校 生徒会40,684円 矢島高等学校 18,213円
6.預金利子	65	前年度分
7.その他	8,538	募金箱3ヶ所
合 計	1,356,628	

平成12年12月20日送金

「赤い羽根共同募金」
ご協力ありがとうございました

去る10月1日から展開されま
した赤い羽根共同募金運動は、
行政協力員各位による毎戸募
金、婦人会による街頭募金、町

内法人会社、団体による大口募
金、学校生徒ボランティア委員
会募金等多くの皆様のご協力を
得まして目標額を達成すること
が出来ました。本運動を支援下
さいました町民皆様に対し厚く
お礼申し上げます。

第47回本荘市由利郡
珠算競技大会入賞者
(平成12年10月21日実施)

第3部 第3位 茂木 徹
第3部 第4位 矢島小 祐
第4部 茂木 祐

団体競技の部
第2部 第1位 矢島中学校
第3部 第3位 矢島小学校
個人競技の部
第2部 第2位 佐藤真理子

第119回 商工会珠算検定
試験合格者
(平成12年11月12日実施)

二級 茂木 徹 (坂の下)

ほげんだより

〈健康シリーズ〉

インフルエンザに要注意
12月～3月はインフルエンザの流行シーズン。インフルエンザは普通の風邪とは違い高齢者や幼児には命に関わる感染症です。

インフルエンザを重症化させないためには初期症状のシグナルを見逃さないことが大切です。インフルエンザにかかったかなと思ったら2日以内に医師

の診察・治療を受けましょう。新しい治療薬が来ていますから重症化を防ぐことができます。

治療後は水分や栄養を十分に取って安静にしましょう。

インフルエンザQ&A

Q インフルエンザにかかるとどんな症状が出るの？

A 突然の発熱、悪寒が見られます。鼻水、くしゃみ、せき、のどの痛みなどの風邪症状の他に関節痛、筋肉痛といったいわゆる「ふしぶし」の痛みが加わります。

インフルエンザ 5つの予防対策

1、十分な栄養と休養を

感染に対する抵抗力を落とさないために、バランスのとれた栄養と十分な睡眠に心がけましょう。

2、室内が乾燥しないように

乾燥した冷たい空気は、呼吸器の粘膜の機能を弱め、ウイルスに感染しやすい状態にします。

3、マスクを着ける

ウイルスの侵入を防ぐフィルター付きのマスクもあります。

4、人ごみを避ける

多くの人が集まるところほど、かぜのウイルスが蔓延しています。

5、外出後は必ず手洗いとうがいを

手や呼吸器に付着したウイルスは早めに洗い流しましょう。

Q 市販のかぜ薬でインフルエンザは治せるの？

A 市販のかぜ薬は熱、咳、鼻水などの症状を抑える薬です。インフルエンザに直接効くものではありません。

〈相談・健診〉

◎なんでも健康相談

日時 1月30日(火)

午前9時30分～11時30分

場所 保健センター

※体脂肪率や血圧を測定し、今年1年の健康目標をたててみてはいかがですか？お気軽にいらして下さい。

◎3歳児健診

日時 1月10日(水)

午後1時

場所 保健センター

対象 平成9年6～9月生

持参するもの
母子手帳、アンケート用紙

※アンケート票後ろの視力・聴力の検査セットで必ず検査を済ませて来て下さい。

(検査セットの無い方は福祉保健課まで連絡下さい。)

電話 55-4960

◎2歳児健診

日時 1月12日(金)

午後0時45分

場所 保健センター

対象 平成10年7月～10月生

持参するもの
母子手帳、アンケート用紙、タオル(染め出し液がついても構わないもの)

※菌垢の染め出しチェックを実施しますので自宅で歯を磨いて来て下さい。

◎乳児健診

日時 1月30日(火)

午後1時

場所 保健センター

対象 平成12年1・3・6・9月生

持参するもの
母子手帳、記入したアンケート用紙、バスタオル

〈予防接種〉

◎麻疹

月日・場所

1月26日(金) 木村医院

1月31日(水) 佐藤医院

2月6日(火) 大井医院

時間 午後1時30分～2時

対象 平成11年1月～12月生

持参するもの
母子手帳と記入した予診票

※接種希望日の1週間位前に各医療機関に予約の電話をお願いします。

ボランティアを募集します

『ふるさと矢島』もお陰様で開設し10ヶ月経ちました。特技をお持ちの方、あるいは、何かやってみてほしい!!とお考えの方、気軽に『ふるさと矢島』まで、おいで下さい。地域の皆様とのふれあいを大切にしながら、歩んでいきたいと考えております。宜しくお願致します。

連絡先

特別養護老人ホーム

『ふるさと矢島』

TEL 27-5711

FAX 27-5712

活動内容(例)

・クラブ活動の指導、補助

・音楽、歌、書道、ぬり絵

・折り紙、ちぎり絵、刺し子等

・レクリエーション指導、補助

・オムツたたみ

・シーツ交換、ベットメーカー

・洗濯物配付

・行事補助

・施設内外美化、清掃等

・壁画作り

・介護材料作り(ガーゼたたみ等)

・食事の際の配膳、介助

・話し相手、爪切り等

・散歩補助

・入浴の手伝い

・喫茶店

他

こちら情報センター

IT普及

国民運動の展開

現在、国では急速に拡大しているIT（情報通信技術）を誰もが享受、活用できるように12・13年度にわたりIT基礎技術講習会を開催し、IT利用技能向上を図ろうとしております。

この講習会は、国民運動として全国に展開するため、全国一律の技術向上が図られます。矢島町においても他町に遅れないように、国の補助を受け、講習用ノートパソコン15台を導入し、IT講習会を2カ年で17回（三〇〇名程度）開催する予定にしております。IT機器は、暮らしの中にますます浸透し、現在、毎日見ているテレビと同じぐらいの使用が見込まれます。少しでも多くの町民の皆様に講座を受講いただき、来るIT社会に対応し、生活に役立てていただきたいと思います。

先月号にも掲載しましたが、12年度の講習会は、下記のとおりとなっておりますので、受講を希望される方は下記により申込み下さい。

●開催時期

一、IT講習会

「レディースパソコン
初歩講座」

1月22日・24日・26日

29日・31日・2月2日

（6日間）

二、IT講習会

「シニアパソコン
初歩講座」

2月5日・7日・9日

13日・14日・16日

19日・21日・23日

26日

（10日間）



●対象

一、町内在住在勤の女性

二、町内在住在勤で

60歳以上の方

●定員

一、定員10名（残3名）

二、定員10名（残8名）

●内容

パソコンの基本操作、インターネット、メール等

●受講料 一、〇〇〇円

（テキスト・フロッピー代）

●申込み

役場企画商工観光課

（55〜4952まで）

定員になり次第締め切ります。

TV電話ビデオ・オン・デマンド装置
下記電話番号にダイヤルすることにより各種情報が見られます。

行政・福祉情報 29-5020

観光・イベント情報 29-5021

公共施設予約状況 29-5032

ホームページアドレス

<http://www.town.yashima.akita.jp>

メール

kikaku@town.yashima.akita.jp

やまめ忘年句会

霧晴れて山容忽と現はれし

井島 竹波

枯菊を一日もたせる佛葬花

佐藤アヤ子

ふるさとは冬本番に身がまえる

佐藤 勝男

冬晴れや一日の吟行秋醒忌

金子 京子

門外に石佛一基冬ざるる

佐藤木の実

黄落や下向き歩む葬の列

佐藤柳四郎

第三〇八回

矢島短歌会九月例会秀歌

講師 藤田嘉樹選

地に生まれ一週間の命とう蟬の骸のひそと乾けり

茂木 富子

さながらに母の暮して居よう

佐藤 洋子

な他人に委ねし生家の灯火

正木 禮子

習慣となりたる朝の寒暖計一度

佐藤アヤ子

の寒さを夫と語らう

佐藤真都子

生き様のにじむ回顧にもりあがり友等と語る故郷の夜

伊東 房代

八塩嶺の紅葉なせば幼き日母と別れし峠路うかぶ

木村太一郎

日を追ひて風化されゆく哀しみ

藤田 嘉樹

かじかむ手息吹きかけてペタル
こく 鞍馬 賢治

庭先の石に張り付く落葉かな

佐藤トキ女

凧や息かけ雅印書に押せり

佐藤真都子

ぎんなん拾う子に黄落のつむじ

風 畑中 八島

鴨群るるおしくら万頭の如き湖

齋藤 茂

鴨鍋を囲む家族の赤ら顔

齋藤 瑞

隙間風齡と共に家も古り

北島やす雄

が亡父の日記にふたたび還る

富田 かよ

夕映えの紅葉連なる逆光に切絵

の如きむらさきの鳥や海ま山

金子 京子

一寸の足も運べぬ姉婦郷「良く

来た」と我言葉そののみ

佐藤 幸子

明日に迫る歌稿を思い目覚むれ

ばしとしとと降る秋雨の音

佐藤 ヤス

恙なくひとひ昏れゆく安らぎに

仏間の百合の豊かに香る

佐藤アヤ子

二度となき二千年の敬老会に我

八十才の祝福を受く

木村太一郎

講師詠 藤田 嘉樹

商ひは「飽きない」と父が教え

にき来客なくば飽きもこそすれ

お知らせ 募集

保育園入園受付

平成13年4月から入園を希望する児童及び、4月以降途中からの入園を希望する児童の申し込みを次により受付します。

現在入園している児童で、引き続き入園を希望する場合も、申込み書が必要となります。申込み書は、役場福祉保健課と矢島保育園にあります。

一、定員 一五〇名

二、保育時間

午前7時30分～午後4時
土曜日は、午後0時まで
家庭の状況で時間延長を希望される方は、午後7時30分まで保育します。

三、児童の年齢
0歳児（母親の産休明け）～
小学校入学前の児童

四、受付期間
1月4日～1月12日まで

五、提出先
役場福祉保健課

電話55～4960

矢島保育園

電話27～5656

六、保育園に入園していない児童の保育等の支援も行っておりますので、希望者は矢島保育園に申し込みして下さい。

○一時保育

保護者の都合により、一時的に家庭での保育ができない時に保育園で保育します。
（家族の傷病・部落行事・PTAなど）

○保育園開放日

保育園で遊ばせたい方は、毎月第4金曜日に保育園を開放しますのでおいで下さい。

○育児相談

子育てについての相談を受けます。

水道課から メーター器の検針について

水道課では、1月から3月までの積雪期間中、一部を除きメーター検針を行いません。この期間の水道料金については、前4ヶ月の平均により算出した金額を納付していただき、4月に差額を精算します。

また、この期間中の下水道料金についても同様に4月に差額を精算することとなります。

尚、凍結等により水道管の破損事故等が発生した時は、メーター検針をして精算しますの

で、役場水道課（55～4954）にお知らせください。

高松市友好訪問団 団員募集

昨年10月27日生駒氏以来、深い関わりのある高松市と友好都市の協定をいたしました。更に友好の絆を強めるため昨年に引き続き、友好都市訪問団を結成し訪問することにいたしました。町民の皆様に参加していただきたく、左記により募集致しますのでご応募下さい。

但し、昨年参加された方は御遠慮下さい。

○期日 平成13年2月2日（金）～4日（日）

○訪問先 香川県高松市

○経費 一人7万円

（町補助3万円）

○申込先 平成13年1月4日から1月12日（金）まで矢島町教育委員会に直接又は電話で（56～2203）

※先着15名とします。

尚、詳細は教育委員会にお問い合わせ下さい。

第23回全町麻雀大会 参加者募集

日時 2月18日（日）午前9時半
場所 矢島町福祉会館
会費 チーム 一〇、〇〇〇円
個人 二、五〇〇円

締切 2月9日まで

申し込みはチーム毎又は個人でお願いします。

20チーム、80名になり次第締切らせていただきます。

電話 56～2206
ファックス 27～5115

矢島町商工会

矢島町消防団の 活性化に向けて！

女性消防団員の募集

近年、本町でも過疎化、少子高齢化等の社会構造の変化が一段と進み、時代の変化に即応した消防団体制の整備が急務となっております。そのため、現在の十二分団を六分団十二部制とし平成13年4月1日より再編される事になりました。

これに伴い、女性の力も消防団組織の中で生かし、消防団の活性化と地域防災力の強化さらに魅力ある消防団づくりを推進するため、女性消防団員を採用することにしました。

つきましては、次のとおり女性消防団員を募集致します。

募集人員 5名

応募資格

矢島町に居住、若しくは勤務する18歳以上の健康な女性

活動内容

採用後は、消防団本部の所属となります。

一、町民への火災予防、防災への広報活動

二、町民への救急救命手当の普及啓発

三、消防団活動の後方支援など
実際の消火活動や水防活動については制限を設けています。

採用後の待遇

年報酬の支給

（本町条例の規定による）

費用弁償の支給

（本町条例の規定による）

その他

活動中の公務災害補償制度、共済制度、各種表彰制度、退職報償金制度があります。

※消防団員として活動中は非常勤地方公務員です。

受付期間

平成13年1月9日（火）から

1月31日（水）まで

応募方法

生活・環境課に備付の申込書に記入の上、提出下さい。

問い合わせ先

矢島町役場生活・環境課

（電話55～4959）

平成12年度後期 危険物取扱者試験の案内

一、試験の種類、期日、受験者の範囲及び試験会場

○全種類

平成13年1月14日（日）

一般、高等学校生徒対象

秋田経済法科大学
秋田桂城短期大学
横手工業高等学校

○乙種4類、丙種
平成13年2月3日(土)
高等学校生徒対象
秋田工業高校他

詳細については消防署に問い合
わせて下さい。

矢島地区消防組合消防署

シルバー人材センターより

21世紀は明るく

生きがいを持った生活を!

新年あけましておめでとうござ
います。又、昨年中の御利用
誠にありがとうございました。
さて、少子・高齢社会が進展
する中で、健康で労働意欲の旺
盛な定年退職者などの高齢者
が急速に増加しており、雇用や
就業を希望する方も少なくない
状況となっております。

こうしたことから、高齢者
の就業機会の拡大を図るため、
就業開拓の促進、啓発普及活動
の推進を主にシルバー人材セン
ターで行っています。

人生80年時代を迎え、自分の
持っている技術、技能、やる気
を眠らせておく事は、非常に
もったいない事です。

まだまだ働けると思っている
高齢者のあなたは是非シルバー
人材センターに入会し明るく生

きがいを持った21世紀にしませ
んか。

2001年冬まつり

雪だるまコンテストに

参加しませんか

「21プラス1」では雪を楽しも
うを合言葉に雪だるまコンテス
トを開催します。ご家族、お友
だち、学校のクラス単位で雪だ
るま作りに挑戦してみましょ
う。

・開催期日 平成13年2月3日
(土) 午後5時審査

・会場 ふれあい公園

・表彰 最優秀賞をはじめ各賞
あります。

・主催 「21プラス1」

・申し込み 矢島町企画情報係
茂木まで(5554952)

※ 参加方法については、申し
込まれた方に後日連絡いたし
ます。

第3回秋田県スポーツ 少年団スキー交流会

◎1月27日(土)

午後1時〜実技研修会

午後3時〜開会式

◎1月28日(日)

午前10時〜競技

午後3時〜閉会式

※両日共、矢島スキー場を会場
に、県内から約200名の小中
学生が参加して開催されます。
皆様の温かい声援をお待ちし
ております。

第44回秋田県 中学校スキー大会開催

標記スキー大会が、3年振り
に矢島町を会場に開催されます。
全県から約二七〇人の選手が
参加します。

日程は、次のとおりですので
町民皆様の声援をお願いします。

記

◎1月19日(金) 午後3時

◎開会式 日新館

◎1月20日(土)

◎競技開始 午前10時
アルペン 矢島スキー場
ノルデック 花立

◎1月21日(日)

◎競技開始 午前10時
アルペン 矢島スキー場
ノルデック 花立

不用犬の引き取り日程について

1月、2月、3月の不用犬の
引き取り日については、次のと
おりです。

1月11日、18日、25日
2月1日、15日、22日

3月8日、15日、29日
当日の11時まで本荘保健所に
飼い主が搬送してください。

手数料は、生後91日以上は1
頭につき千円、生後90日以内は
10頭につき千円です。
鑑札を持参してください。

不明な点がありましたら、
役場生活・環境課
電話5554959
まで、連絡してください。

1月26日は文化財防火デー

昭和24年1月26日は法隆寺金
堂壁画が焼損した日です。国で
はこの日を「文化財防火デー」と
定め、文化財を火災震災その他
の災害から守るため全国的に文
化財防火運動を展開し、国民の
文化財愛護思想の高揚に努めて
います。

矢島町では、1月25日(木)の
午後2時から国指定重要文化財
「土田家」において、防火訓練を
行います。是非、見学をし、防
災意識の再確認をしてはいかが
でしょうか。

ご近所の皆様には御迷惑をお
かけしますが、ご協力願いまし
ます。

献血車運行のお知らせ

1月の献血は成分献血です。

皆様のご協力をお願いします。
成分献血とは、血液中の血小
板や血しょうなどを献血する方
法で、献血者の方にとつても快
復の遅い赤血球は再び体内にお
返ししますので身体への負担が
少なくて住みます。

日時 1月22日(月)

午前10時〜12時

午後1時〜4時

場所 矢島町役場

※ 1人1時間位の時間が必
要です。希望者は役場福祉
保健課健康増進係までお知
らせください。
※ 電話564960

勉強会に参加しませんか

矢島町では駅前広場を今後ど
のように活用していくのか、町
民の皆さんのご意見をいただき
ながら一緒に検討していきたく
と考えております。

いづれ検討委員会を設置いた
しますが、その前に他町村など
を参考にした勉強会を開催いた
します。

ご希望の方は左記へお申込み
ください。

記

・申し込み先

矢島町企画商工観光課

企画情報係
5554952